

多機能型事業所 愛晃の杜

生活介護 20名 就労継続支援B型 20名 日中一時 5名

工賃アップ

就労継続支援B型事業においては、令和4年度は、愛晃の杜で初めて、工賃月平均 20,000 円以上を達成することが出来ました。利用者・職員一丸となって作業に取り組んだ成果と感じています。

障害者就労継続支援事業所生産活動機能強化事業費補助金を活用し、リネン作業の自動紐かけ結束機を導入。作業効率アップで生産量アップと時短、職員の負担軽減となりました。また、作業室の整理整頓と見える化をすることにより、作業品の在処・在庫数がわかりやすくなり、材料不足で作業を止めてしまうことが少なくなりました。作業棚は業者に発注せず、職員のDIYで経費削減を行いました。



健康維持のサポート



生活介護事業では毎日の日課として、体を動かし、体力づくりや肥満防止などの健康に留意した支援を行っています。作業班はどうしても運動の機会が少なくなってしまうので、作業の合間を見て散歩の支援を行いました。新型コロナウイルスが落ち着いてきたので、運動の機会を増やしていきたいと思えます。



令和3年度事業で入浴設備改修工事を実施し、令和4年4月より、特殊浴槽（シャワードーム）を導入した入浴支援を開始しました。

利用者に安心・安全に入浴していただく為、職員がモデルとなり研修を行いました。定期的に研修を行い、慢心せず常に日々の支援が良いものとなるようにしていきます。

次年度に向けて

- ◆ より多くの工賃が支払えるよう主軸となる作業獲得を行い、引き続き平均工賃2万円台を目指します。
- ◆ 利用者の高齢化・重度化が進んでいることから、体力づくりを行うとともに、事業所内の安全面の配慮を行い（廊下や脱衣所の導線確保、障害特性の理解、きめ細かい心配りなど）、事故0を目指します。全職員が利用者の目線で考え、適した環境が常に整えられるように、職員へ研修を行います。
- ◆ 地域交流の一環として、①アルミ缶回収ステーションを設置し、近隣住民の協力を得ながら、事業所の取り組みや障害のある方への理解を深めていただく、②散歩を行いながらゴミを拾い活動を行い、地域のきれいな環境を守ることを重点に取り組んでいきます。